



病院長挨拶



富山市民病院院長
藤村 隆

令和2年(2020)年4月1日に院長を拝命しました藤村 隆です。先生方には、いつも多くの患者様をご紹介いただき、また当院からの逆紹介の患者様を診ていただき、誠にありがとうございます。

当院は「医療を通じて市民の健康を守るとともに、地域社会の発展に貢献すること」を使命(ミッション)としています。核家族化、少子高齢化が著しく進むなかで、個々の患者さんの医療を提供することはもちろん、家庭や地域での安定した生活を確保することが重要です。平成20年に県内では最も早く地域医療支援病院に指定され、地域医療の「リーダー病院」となるべく取り組んできました。平成31年(2019年)4月に富山市の運営となった富山まちなか病院とは強く連携して、急性期から回復期にかけての医療を切れ目なく行うことを目標としています。さらに地域の医療機関の先生方とも連絡網を密にして地域医療さらには地域そのものを継続させることは、富山市のSDGs(持続可能な開発目標)政策の一翼を担うものと考えています。

私どもは富山市の夜間休日救急輪番体制を堅持するとともに、日中の救急患者も可能な限り受け入れることに努力しています。また近年増えている豪雨、大型台風あるいは地震などの災害に対して、以前より事業継続計画(BCP: business continuity plan)の策定を行い備えています。

これからも全力で取り組んで参る所存ですので、さらなるご支援をよろしくお願い申し上げます。

富山市民病院が 「日本脳卒中学会の一次脳卒中センター」に 2019年に認定されました。

脳神経外科部長 毛利 正直

一次脳卒中センターとは、「地域医療機関や救急隊からの要請に対して、急性期脳卒中診療担当医師が、患者搬入後可及的速やかに診療を開始できる施設」として日本脳卒中学会が2019年から認定を開始しています。



認定要件としては、

- ①地域医療機関や救急隊からの要請に対して、24時間365日脳卒中患者を受け入れ、急性期脳卒中診療担当医師が、患者搬送後可及的速やかに診療（rt-PA静注療法を含む）を開始できる。
- ②頭部CTまたはMRI検査、一般血液検査と凝固学的検査、心電図検査が施行可能である。
- ③脳卒中ユニットを有する。
- ④脳卒中診療に従事する医師が24H/7D体制で勤務している。
- ⑤脳卒中専門医1名以上の常勤がいる。
- ⑥脳神経外科的処置が必要な場合、迅速に脳神経外科医が対応できる体制がある。
- ⑦機械的血栓回収療法が実施できることが望ましい。
- ⑧定期的な臨床指標取得による脳卒中医療の質をコントロールする。

当院は、上記の条件全てを満たし、特に①④は脳神経外科医3名と脳神経内科医3名の6名体制で脳卒中診療に従事し、⑤は脳神経外科医2名と脳神経内科医1名の3名が脳卒中専門医を取得し、⑥は脳神経外科医の3名のうち1名が日本脳卒中の外科学会技術指導医を取得し、⑦は1名が日本脳血管内治療学会指導医を取得しています。以上の万全の体制で日本を脳卒中から救いたいと志を同じくして取り組んでいますので、脳卒中診療であれば当院に安心してお任せ下さい。

ふれあい地域医療センター 新任スタッフの紹介



看護師 杉森 裕子（すぎもり ゆうこ）

4月より保健所からふれあい地域医療センターに異動となりました杉森 裕子です。病棟スタッフや地域の皆様と連携をとりながら、患者さんのために良い退院支援を行っていきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。



看護師 石黒 夢乃（いしぐろ ゆめの）

4月に術前検査センターに異動となりました石黒 夢乃です。患者さんが不安なく入院・手術に臨めるように、思いに寄り添った支援を行えるよう努めます。よろしくお願いいたします。



地域医療連携室からのご連絡

地域医療部主任部長、地域連携室部長

土岐 善紀

平素より当院との診療連携にご協力いただき厚く御礼申し上げます。今年度もこれまでと変わらずご支援くださいますよう、よろしくお願いいたします。

さて、先の報道でご承知のことと思いますが、COVID-19感染者が当院でも発生し、外来診療や予定手術の休止対応に伴って大幅な診療体制の抑制を余儀なくされているところです。加えて自宅での待機を命じられている職員も多く、地域の先生方にはご不便ならびにご心配をおかけし大変心苦しく思っています。現在、病院職員は一致団結してこれ以上の感染拡大の防止、入院患者さんへの通常診療の維持、そして院外への連絡対応に全力で取り組んでいるところです。行政が定義する濃厚接触者よりもさらに広く網がけする独自の医療的基準を設け積極的にPCR検査を行うことで市民の皆様の安心と信頼を取り戻すべく努力をしています。また、病棟勤務の看護師を始めとする多職種の職員が医療職の使命感を失わず治療にあたっていることにどうかご理解をいただきますようお願いいたします。

地域連携症例検討会におきましては4月、5月はこれを中止とさせていただく予定（改めて通知します）です。また、毎年6月に実施しております地域連携の懇親会につきましても、本年度の実施は難しい状況になっておりますことに重ねてご理解をいただけますようよろしくお願いいたします。

今回の件を乗り越えて、さらに結束が強く信頼される病院・地域連携室を目指してまいりますので、勝手ながら「市民病院がんばれ」と叱咤激励いただき、文字どおり「連携と支援」をお願いする次第です。

研修・講演・学習会のご案内

◎地域連携症例検討会

新型コロナウイルス感染の拡大防止のため、5月以降の開催をしばらく見合わせていただきます。先生方にはご迷惑おかけし大変申し訳ありませんが、何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

◎定例の研修会、看護研修、衛星研修S-QUE視聴研修は、当面の間、開催を中止いたします。

衛星研修S-QUE研修

○配信期間 5月7日～6月11日 急変を起こさないためのスキル①バイタルの基本

○配信期間 5月18日～6月21日 急変を起こさないためのスキル②アセスメント

資料をご希望の方は、ふれあい地域医療センターへご連絡ください。皆様には大変ご迷惑おかけしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

※お問合せは、ふれあい地域医療センターで承ります。
TEL 076-422-1114（直） FAX 076-422-1154（直）

令和2年度 富山市民病院 地域連携の会 講演会・懇親会 開催中止のご案内

6月16日に開催予定の「令和2年度 地域連携の会 講演会・懇親会」は開催を中止することとなりましたのでご案内いたします。



院内の活動のご紹介

NST（栄養サポートチーム）について

栄養により人間のからだはつくられており、栄養療法はすべての患者さんに共通して必要な、基本的かつ重要な治療法のひとつです。ところが、現実には入院患者の2～4割程度に栄養障害があると見積もられ、そのことが治癒を遅らせて入院期間を長引かせる一因にもなっています。一方、入院時に患者さんの栄養状態を適確に判断し、栄養障害が疑われる患者さんに早期から栄養療法を行うことで治療効果が向上し、さらに感染症などの合併症を防ぐのに有効であることが明らかになっています。NSTは、専門知識や技術を持った複数の職種（医師、栄養士、看護師、薬剤師、言語聴覚士、検査技師など）が、各々の専門性を活かしながら、職種間の垣根を越えたチームで患者さんの栄養管理にあたります。個々の患者さんの体格

や病状に合わせた栄養治療を実施することで患者の栄養状態を改善し、疾患の治療効果を上げるのが目的です。

実際の活動内容は、入院時に患者さん全員に栄養スクリーニングを行い、栄養障害が疑われる症例をNST対象症例として介入します。以後入院中を通して定期的な栄養評価とNST回診を継続し、適切な栄養投与量・投与方法などを主治医に提言しています。入院時に栄養障害がないと判断された患者さんに対しては担当看護師・病棟担当の管理栄養士が個々に栄養必要量を算出し、毎週栄養評価を継続しています。必要があればNSTが介入し、入院中の栄養障害発生や状態悪化を見逃さないよう努めています。

文責：栄養サポート委員長 医師 辻 亮

医師不在のお知らせ

5月

科	名	医師名	不在日
皮膚科		野村	21日
		北野	25日

※外来担当日の休診のみ掲載

※その他、急に不在となることがありますので、ふれあい地域医療センターまでお問い合わせください。

TEL 076-422-1112（代）内線 2168

編集後記

新年度が始まり早1か月、気持ちの良い5月がやってきました。

今年は新型コロナウイルスの流行もあり、なかなか外に遊びに行けない日々が続いております。我が家には小さい子供がおり、毎日学校に行ける事、お友達と遊べる事がいかに幸せな事なのか、感じる毎日です。1日でも早く終息し、皆様に平穏な日々が戻りますようお願いしております。些細な事で、心配な事がございましたら、ご相談ください。

今後もふれあい地域医療センターをよろしくお願いいたします。

ふれあい地域医療センター 見浦 彩



作：病院ボランティア 篠崎 佳子

「れんけいと支援」に関するお問い合わせは、ふれあい地域医療センターまでご連絡ください。送付を希望されない方はお申し出ください。

TEL 076 (422) 1114 / FAX 076 (422) 1154

メールアドレス fureairenkei@tch.toyama.toyama.jp

ホームページ <http://www.tch.toyama.toyama.jp/> がん何でも相談室：メールアドレス shien@tch.toyama.toyama.jp

